第５回統合準備委員会（2026.6.24）

コミュニティ・スクールを見据えた熟議（統合後の諸課題について）

～「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」のために～

統合に伴い学校跡地の活用が大きな課題となるので、『附属小跡地活用について』をテーマに５人のグループ４班に分かれて熟議を行い、グループごとに話し合われた内容を全体で共有した。

市の「学校跡地利活用基本方針」における利活用決定フローでは、地元の意向確認等を行った上で、公共施設・公益施設としての活用について、行政需要や公共施設全体の量的な適正化等を踏まえて検討することになっている。

ここで話し合われたものは、市において利活用方針を検討する際に、地元の意向確認等の一環とすることを想定している。

４つのグループに分かれて熟議方式で話合い、全体で共有された内容は、次のとおり。

（第１グループ）

・サロンや交流会ができる施設
・教室に開地の歴史や文化、言い伝えを展示
・学校にムササビが来ることは珍しい。そこを大事にしていく。
・懸念点として、校舎に人がいなくなるが管理は？

（第２グループ）

・残すがキーワード
・地域の方が使うという意見が一番多かった。ふれあい集会場。
・防災の基地として使い続けていく
・維持が大変。
・外国人学習向けの施設
・インキュベーション施設（起業等）
・民間（宿泊施設や民泊）に部分貸しし、収入で維持。

（第３グループ）

・開地地域にはコミセンがない。市で施設を管理し、集う場所として活用する。
・森林組合に近い団体から、校舎の中を宿泊施設として使う等活用できないかという話を聞いたことがある。しかし、民間に渡すと、地域が防災（避難場所）で使うことができない。
・文大生に来てもらい、交流できる施設。学童や放課後子ども教室の継続は難しい。地域の子どもとの交流に大学生がきてもらえれば。

（第４グループ）

・グループホーム等でもよいので、地域の人が集まれる場所
・キャンプ場（バイク族の方が多く通る。）
・野菜を売ったり総菜を売ったりできる道の駅のような施設
・森の博物館（豊かな自然があるので、自然と人（子ども）を繋ぐ施設）
・自然を生かしたもの
・民間に投げると、地域に受け入れにくいものになる可能性もあるが、核となる人が地元の人なら受け入れられやすいように思う。

・地域とつながり、地域に広がる施設

（ファシリテーターまとめ）

・どのグループも、コミュニティセンター的な要素を求めていた。
・「学生とつながれる拠点」「ムササビや自然」「文化の集うところ」などのアイデアもあった。
・防災の話があった。校舎の位置的には山を背負っているが、防災の施設としてすぐに使えるように。北杜市増富ではメンテナンスが大変で住民だけでは難しいため、公的な維持もという話もあった。
・指定管理、住民の意にそぐわないものになる可能性もあるが、地域の住民の自己実現の場になる可能性もある。
・全部行政任せにはできないが、皆で一緒に考えていく必要がある。

各グループで出された意見は、次のとおり。

（課題について出された意見）

放課後活動とスクールバスの時間　参加企業　校舎管理者をどうするか　人けがなくなるので管理状況が気になる　維持することが大変　施設管理　施設の維持費や人件費　予算確保、運営負担　人口減少　防災、防犯　児童数が少ないのに成立できるのかな　附属小校舎内に管理者を置けるのか　管理者をだれに？　管理する人材、核となる人（地元）

（要望として出された意見）

教室に附属小の歴史　他の教室に開地の歴史、文化、史跡、言い伝え　ムササビが来るのでこれからもそこを大事に考えていく　地域の交流の場所として使用　地域の活動（文大、子供、公民館、体育（運動)、スポーツ）　放課後の児童の活動　体育館、グランド等の施設利用は継続　体育館やグランドは防災で利用　防災基地、ヘリ、災害時避難所、防災倉庫　避難場所　民間企業、避難場所、避難場、地域が利用できる、コミュニティとして利用　いい場所づくりの活動としての会場（教室、グランド）　民生委員によるサロンの交流会等、開地を統合した活動　公民館　ふれあい集会所を持っていってほしい　地域の施設としての利用　市役所の分所　コミュニティセンター　コミュニティセンター的な市民が集まれる場所　開地のコミュニティセンター　市コミュセンを作る、地域の活動拠点　地域住民の集う場所、コミュニティセンター　地域のコミュニティセンターにしてほしい、文大生との交流　民生委員サロン、地区ごとを一か所に開地カフェ、地域のコミュニティ、都留のいい場所づくり　教育ミュージアム　図書館、メディアセンター　カルチャーセンター（料理、文化的なこと）　体験学習のできる場所（学校）畑、川、探検　ネイチャーセンター　インキュベーション施設森の博物館　文大で活用ムササビ　動物や森林教室の場　統合後学校の自然活動で利用　児童クラブ子ども教室センター　統合した気持ちを放課後子ども教室でも味わってほしい　民間には運営をまかせたくない（避難場所が無くなる）　プールを違う形で使用したい　民間（木工作業）　外国人学習向け施設　民間委託→宿泊、企業　民泊もよい　グループホーム　キャンプ場（モーターキャンプ、キャンピングカー、バイク（テント伯）　道の駅　宿泊体験ができる場所（避難所宿泊、夏の学校的な）　大学側の意向を伺いたい